

23年度

パドラーズトピックスー22

8月3日のアンケートに基づいて陸前高田第一中学校仮設住宅への支援物資配布の報告

8月3日に陸前高田第一中学校仮設住宅（130世帯）へ不足している物資などのアンケート（94世帯回答）をさせていただきましたが、それを元に9月9日に秋田パドラーズ会員や一般の方20名と南郷ベースから2名、ししおりの渡辺さんの協力を得て届けてきました。

生活用品134品目（4,301個）、衣類関係36品目（1594枚）、子供用衣類15品目（149枚）合計185品目（6,044個）の支援要請がありました。その中で足りないものも一部ありましたがそれ以外のものを配らせていただきました。秋田県の支援物資の他に多くの方から支援していただきましたことに感謝申し上げます。その皆様は

吉田博実、深浦孝子、羽生喜一、吉川節子、雲雀裕幸、戸田真知子、美容室あーく、株式会社ルーク 西谷令子、渡辺朋、信田有委子、犬猫ネットワーク、佐藤淳子、株式会社アープ、遊学舎畠山センター長、佐々木宏光、武田誠司、佐藤奈緒子、サビナ高橋、わらしべ竹内、有明食器、船山孝藏、竹半スポーツ、RQ 市民災害救援センター 東北本部、船山ひとみ、大石真史、杉館ゆきえさんでした。この場をお借りしてお礼をさせていただきたいと存じます。ありがとうございました。



今回のアンケートの集計や一世帯ごとに確認の電話をかけ、取り残しがないかなど細心の注意をしながら取りまとめてくれた深浦会員です。



集められた5,500を超える物資を2週間かけて、個人用とフリーに振り分ける作業もパドラーズの心意気で毎日続けられました。アンケートから一ヶ月になり早く届けてあげたい気持ちと、出来るだけ100%そろえてから届けたい気持ちが入り混じり、毎日届けられる暖かい皆さんの善意も同じ気持ちを感じながら頑張りました。この仕分けの会場を無料で2週間も提供してくださいました竹半スポーツさんには感謝申し上げます。



8日前日夜8時まで4トントラックに積み込む作業も、三八五交通の元プロドライバーの石山勝さんから指導を受けて全部積み込むことが出来ました。これだけのものがすべて収まる積み方はなかなか素人では出来ないと思いました。



9日午前9時前に到着し、仮設の集会場の前に個人用の物資を番号ごとに並べて準備にかかりました。皆さんには10時から取りに来ていただくように案内していましたが、用意していたものが不足していた方が何人かいて万全ではありませんでしたが混乱も無く無事配布が出来ました。陸前高田の社協さんも来ていました。



南郷ベースからは佐々木さんと畠山さんが応援に駆けつけてくれました。

RQ 市民災害救援センター 東北本部（宮城県登米市）からの衣類の支援物資を運んでもらったり、また重い物を運ぶための運搬用一輪車を用意し個人宅まで運ぶ作業も行ってくれました。



先月南郷でも食器の無料配布を行いました。60分持たなかったようにフリーのものはあっという間に無くなりました。控えめの方はこの熱気の中には入れず私たちがサポートしなければ手に入れることも出来ない状態

でした。まだまだ足りないものがきちんと把握すれば私たちにまだまだ出来るものがたくさんあるようです。

10月末か11月初めに南郷で第2回目の無料配布を考えています。たくさんの物資が必要と思われます。



アンケートの中にマッサージの要望もありました。深浦悟会員はマッサージ師なので今回快く引き受けてくれました。時間の制約もあり多くの方にサービスできませんでしたが、いい体験になったと話していました。

今回一緒に参加した秋田学生復興支援ネットワークの学生さんからも参加したことの思いを、中村理事宛に AIU Supporter 代表国際教養大学2年 大内幸実さんからいただきましたのでお伝えいたします。

中村さま

復興祈願祭の連絡と交錯してしまいましたが、先日陸前高田第一中学校での物資配布に同行させて頂いた事、遅ればせながら改めてお礼申し上げます。

参加した学生スタッフ全員が、新たな視点で復興支援について考える大変良い機会になりましたし、初めて被災地に自分の足で赴いた学生もおりましたので、今後に繋がる体験をさせていただけたこと、嬉しく思っています。

以下、参加した私と元村以外の、ネットワーク外の学生（今回は初めての活動だった学生）より、感想とお礼の言葉をもらいましたので、お伝えさせていただきます。

今日は、本当にお世話になりました。

行く途中は、地元を思い出したり、ちゃんと話せるのかなという不安もあって、複雑な思いでしたが、実際に行って、色々な人と話すことによって、さまざまな経験をする事ができ、行ってよかったと思いました。

被災地出身でありながら、ボランティアなど、何もできなかったのが、今回の経験をきっかけに、さまざまな、ボランティアに参加したいと思います。

今日は、貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

(相原美咲)

先日は陸前高田まで同行させていただきありがとうございました。たくさん動いて疲れもしましたが、それ以上に仮設住宅に住む皆さん、そして秋田パドラーズの皆さんにたくさんのパワーをもらいました！また機会がありましたらよろしくお願いします。

(吉田菜々子)

このたびは、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

実際に、仮設住宅を訪問して、やはり、物資がまだまだ足りていない地区もあるのだと痛感しました。それと同時に、まだなにか被災地に住む方にできることがあるのだと知り、もっと意欲的にこういった活動に参加をしようと思いました。このたびは、本当にこのような機会をつくっていただきありがとうございました。

(鈴木星純)

国際教養大学 大内幸実より

